

光量子科学連携研究機構 (UTripl) セミナー
光量子科学研究センター (PSC) セミナー・フォトンサイエンス研究機構 (IPST) セミナー
コヒーレントフォトン技術によるイノベーション拠点 (ICGPT) セミナー
光量子科学によるものづくり CPS 化拠点 (STELLA) セミナー
東京大学統合物質科学リーダー養成プログラム (MERIT) セミナー
最先端融合科学イノベーション教育研究コンソーシアム (CIAiS) セミナー
TACMI コンソーシアム オープンセミナー

いま、「標高」がアツい！

～水準測量から航空重力測量、光格子時計まで～

矢萩 智裕 氏

国土交通省 国土地理院 測地部 物理測地課長

日 時：平成31年2月22(金) 16:30～18:30

場 所：東京大学理学部1号館3階340講義室

Abstract

GPS や準天頂衛星によって正確な位置が当たり前に見える時代ですが、実は水の流れを表す「標高」は重力の影響を受けるためそう簡単ではありません。

本セミナーでは、明治以来のクラシックな水準測量による標高決定から、国土地理院が今年から始める航空機を使った重力データ計測のプロジェクト、更には相対論的効果を利用した光格子時計の将来的な測地利用の可能性まで、「標高」を取り巻く話題について幅広くご紹介します。

冒頭では国土地理院全体の業務にも触れますので、理工学の知識を活かした業務としてご参考になれば幸いです。

使用言語：日本語

紹介教員：湯本潤司 教授 (理学系研究科物理学専攻)

本件連絡先：psc-office@psc.t.u-tokyo.ac.jp

※本セミナーはオープンですが、記録のため参加者のお名前、ご所属、連絡先を当日ご記入いただきますのでご了承ください。